

平成30年度学校経営計画

メインテーマ

共創力を発揮する

I 学習・進路指導の充実

(1) 進路達成の前提となる基礎的な知識・技能を習得させる授業

- ア 互見授業や研修により授業力を高め、「わかる授業」により基礎学力の定着を図る。
- イ 学校設定科目や習熟度別授業、TTによる対応などによりきめ細かく指導する。
- ウ 読書指導や体験的な学習を充実させ、表現力、コミュニケーション能力を育成する。

(2) 自らの将来をデザインする能力をつけるキャリア教育

- ア 自らの将来を設計するための論理的な想像力を身に付けさせる。
- イ 職業紹介イベントやインターンシップなど、就業意識を醸成するための機会を充実させる。
- ウ 大学進学を可能にする個別指導や進学情報の提供により、進学の実選択肢を広げる。

II 生徒指導の充実

(1) 基本的な生活習慣の確立

- ア 挨拶、礼儀、整容、マナーなど、社会生活を円滑に営むための基本を身につける。
- イ 生徒のこころを育て、いじめ防止対策を徹底して、安心安全な環境を確立する。

(2) 部活動、生徒会行事等の活性化

- ア 生徒会行事や体験的学習及び復興教育に主体的に取り組ませ、自己発信力を高める。
- イ ボランティア活動、地域イベントへの積極的な参加を促し、自己肯定感を得させる。

III 特別支援体制の充実

(1) 教育活動のユニバーサルデザイン化とわかりやすい指導

- ア 教育活動のすべてにおいて、誰にでも理解できる表現や手法を用いる。
- イ 特別支援に係る校内研修を行い、教職員の支援能力の向上を図る。

(2) 生徒一人ひとりの困り感の把握と自立に向けた適切な支援

- ア 担任やSCによる面談を踏まえ、いじめ対策委員会や定例教育相談会を機能的に運用する。
- イ 個別の支援計画により生徒の情報を共有し、オーダーメイドの支援を組織的に行う。